

科目名	簿記原理Ⅰ（日商簿記1級コース）
年次	1年次
単位数	8
教員氏名	渡邊
到達目標	簿記理論を体系的に学び、日商簿記1級(商業簿記・会計学)及び全経簿記上級に必要な知識を習得していく。
授業概要	日商簿記1級(商業簿記・会計学)の範囲内の論点にき、その理論及び計算方法を学習する。
授業計画	<p>以下の内容の講義を予定している。1コマは4時間である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総論 2 商品売買 3 棚卸資産 4-5 割賦販売 5 委託販売 6 工事契約 7-8 税効果会計 9 現金預金 10-11 金銭債権・貸倒引当金 12-13 有価証券 14 デリバティブ取引 15 社債 16-17 有形固定資産 18 リース取引 19 その他の資産 20 引当金 21 退職給付会計 22-23 純資産（資本） 24 本支店会計 25 企業結合，合併 26 株式交換・会社の分割 27-32 連結会計 33 外貨建財務諸表項目 34 キャッシュ・フロー計算書
テキスト	T A C 出版 合格テキスト日商簿記1級商業簿記・会計学Ⅰ、Ⅱ
参考書	T A C 出版 合格トレーニング日商簿記1級商業簿記・会計学Ⅰ、Ⅱ
評価方法	前期・後期試験及び出席、課題結果による。
準備学習等	前回までの講義内容の復習に加え、当日講義範囲のテキスト予習が必要となる。
備考	

科目名	簿記原理Ⅰ（日商簿記3級・2級コース）
年次	1年次
単位数	8
教員氏名	川口
到達目標	商業簿記の基礎から学び日商簿記3級・2級の取得を目指す。
授業概要	日商簿記3級・2級の範囲内の論点につき、その計算方法の習得を目指し学習する。
授業計画	<p>下記論点の講義を予定している。1コマは4時間である。</p> <p>1 簿記一巡</p> <p>2-3 B/S、P/L</p> <p>4-5 商品売買</p> <p>6-7 現金および預金</p> <p>8-9 債権・債務</p> <p>10 有価証券</p> <p>11 有形固定資産Ⅰ</p> <p>12 有形固定資産Ⅱ</p> <p>13 リース取引</p> <p>14 無形固定資産と研究開発費</p> <p>15 引当金</p> <p>16 外貨換算</p> <p>17 税金</p> <p>18 課税所得の算定、税効果会計</p> <p>19 株式の発行</p> <p>20 剰余金の配当と処分</p> <p>21-23 決算手続き</p> <p>24-25 収益の認識基準</p> <p>26-27 本支店会計</p> <p>28 合併と事業譲渡</p> <p>29 連結会計Ⅰ（資本連結）</p> <p>30 連結会計Ⅱ（成果連結）</p> <p>31-32 連結会計Ⅲ（連結株主資本等変動計算書）</p> <p>33-34 製造業会計</p>
テキスト	T A C 出版 合格テキスト3級 合格テキスト2級商業簿記
参考書	T A C 出版 合格トレーニング3級 合格トレーニング2級商業簿記
評価方法	前期・後期試験及び出席、課題結果による。
準備学習等	前回までの講義内容の復習が必要となる。
備考	